

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人 最上町社会福祉協議会

令和4年度 事業報告

はじめに

2月にロシアがウクライナに軍事侵攻し力による現状変更を試み、不安と憤りを感じるなか令和4年度を迎えました。新型コロナウイルスは、国内で令和2年に初めて感染者が報告されて以降、これまで国の対策は感染の拡大を抑えるために、行動制限やワクチンの接種をすすめてきました。令和4年度に入り、ワクチン接種率が向上したことや一部の治療薬が薬事承認されたこともあり、これまでの感染対策を優先する方針から徐々に経済対策に舵を切替えて来ました。規制緩和による人の移動や接触が増えることにより国内では感染者が急増しました。山形県は勿論、本町も例外ではありませんでした。町内の医療機関や介護施設でもクラスターが発生し、本会通所介護事業所グリーン「デサービス」でも職員及び利用者から感染者が出て2度も休所（5日間 計10日間）しました。幸いにも、休所後の新規感染者は無く、感染の拡大をくい止めることが出来ました。しかしながら、この休所や感染を恐れた利用控え等により利用者数は大きく減少となりました。

こうしたなか、本会の事業運営につきましては、前年度と同様に感染予防対策を徹底し、地域福祉の中心的な役割と使命を認識しながら各事業を推進してきました。特に戦没者追悼式事業は、前年度に引き続き規模を縮小しながら実施し、敬老会事業においては、幅広い年齢層が長寿を敬い祝福する姿勢が大切であるとの考えにより、全保育園・学校による「ビデオレター」と「感謝とお祝いのメッセージ集」を作成いたしました。

地域福祉の推進については、令和3年度から取り組んでいる健幸もがみ応援プロジェクト事業として「はつらつリーダー塾」を開催するとともに、まちづくりの重要な柱として、町行政はじめ関係機関・団体と連携・協働を進め、町民が多様な形で主体的に福祉活動に参画し、共に支え助け合う地域に根差した活動の拡大・強化を図ってきました。

また、令和4年度からの新規事業として、食と笑顔でつなげよう明日への力「はっぴープロジェクト」事業を展開してきました。この事業は、永井医院院長の永井俊一先生の寄付を契機に最上町社会福祉協議会が民生児童委員協議会や最上町、最上町教育委員会と連携して取り組んでいる事業です。「はっぴープロジェクト」には、子育て応援宅食サービス「はっぴーバスケット」と子どもたちの新たな居場所づくりを目的とした「はっぴーケアプラザ」の二つの事業があります。今後この事業の継続と更なる充実を目指していきます。

介護事業の推進については、前述のとおりコロナ禍による休所や利用控え等により、昨年に引き続き収入は伸び悩みとなりました。このため、経営改善に向けて、職員の意識調査やポジティブワードについての職員研修会を開催し職場の改善に取り組んできました。また、コロナ対策として、町内の介護サービス事業所と連携強化を図り、コロナ陽性者や濃厚接触者への対応について情報交換会を実施することができました。

今後も職員の「働き方改革」に取り組みつつ、これまで進めてきた活動や事業を検証し、組織全体で取り組んでまいります。

以下、令和4年度に実施した事務・事業について、第一章では「1年間の主な事業と課題」を第二章では「具体的な事業内容」（附属明細書）を取りまとめ報告します。

第一章 1年間の主な事業と課題

重点推進事業

1. 地域福祉活動の推進

【 令和4年度事業推進のねらい 】

「ふだんのくらしをしあわせにする」ために、地域・暮らし・生きがいを共に創り高め合うことができる「地域共生社会」を意識し、受け手側と支え手側に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みの構築を目指してきました。また、コロナ禍の自粛生活の中で抱える課題を共有し、工夫してできる支援や事業に取り組みました。

【 主な事業 】

- ① 学び合い支え合う福祉共育の推進事業
- ② ボランティア活動推進事業
- ③ 居場所づくりコーディネート事業
- ④ はっぴープロジェクト事業
- ⑤ 災害時要配慮者支援活動事業
- ⑥ 雪国の生活にやさしいまちづくり支援事業
- ⑦ 健康寿命延伸応援プロジェクト事業
- ⑧ 生活支援コーディネーター配置事業

【 成果と課題 】

福祉共育推進事業は、大堀小学校が今年度から4年生を対象とし、向町小学校も4年生ということで足並みがそろったことで一貫した授業を展開することができました。

ボランティア活動推進事業は、新庄北高最上校地域活動部「イエロー・ダンパーズ」の活動が天候に恵まれず残念でしたが、引き続き連携していきます。また、これとは別に、町への思いから立ち上がった高校生ラジオ立ち上げを支援していきます。

居場所づくりコーディネート事業は、コロナ禍が落ち着いてきたこともあり、各地区で十分な感染対策を施すことにより、事業を推進できるように支援を行ってきました。

雪国の生活にやさしいまちづくり支援事業は、除雪ボランティアと要配慮者のパイプ役として民生児童委員や区長と連携しコーディネートを行ってきました。

健康寿命延伸応援プロジェクト事業は、ウエルネスプラザの医療関係者にも監修を受けたプログラムで、地域における健康づくりの推進をサポートするリーダーを養成する「はっらっリーダー塾」引き続き、実施しました。

超高齢化社会にあって、子どもから高齢者まで、お出かけや健康の増進、交流を通じながら、いきいきとした生活を送ることができる地域を目指して事業を展開してきました。今後は、集落支援員とこれまで以上に連携して、旧中学校区または、旧小学校での支え合いの仕組みづくりに取り組んでまいります。

2. 健康づくり事業の推進

【 令和4年度事業推進のねらい 】

コロナ禍で大切なことは、「感染防止」と「健康維持」の両立です。特に高齢者は、外出を控えて、仲間と会う機会が減ることにより、体力だけでなく気力も低下して「フレイル（虚弱）」になることが心配されます。「フレイル」は早期に気づいて予防することで、健康な状態に戻ることができます。介護予防の3本柱「運動」「栄養」「社会参加」を基本に、健康づくりに対する意識の向上と健康な体づくりを推進するために、専門職等と連携を図りながら、地域のサロンや健康クラブが町民の誰もが気軽に参加できる多種多様な健康づくりの拠点となるように目指してきました。

【 主な事業 】

- ① 国保健康指導事業
- ② 国保元気高齢者健康づくり事業
- ③ メタボリック対策事業
- ④ 転倒予防教室（一般介護予防事業）
- ⑤ 元気はつらつクラブ（介護予防・日常生活支援総合事業*以下、総合事業）
- ⑥ 足腰若返りクラブ（一般介護予防事業）
- ⑦ 体力づくりサポート事業
- ⑧ 体力づくり推進事業
- ⑨ ウエルネス教室事業

【 成果と課題 】

令和4年度は、健康クラブの利用拡大に向けて、フィットネスルームを活用したエアロビクス教室のメニューの多様化や、高齢者の機能回復訓練のための指導、さらには気軽に運動できる施設の利用の拡大と、介護予防や健康な体づくりの普及に力を入れるために、地域のサロンや学校、保育所に出向き、町民の健康増進を図ってきました。

令和5年度も、地域福祉と連動した子供から高齢者までの地域包括ケアシステム構築のために、今後も利用者の様々なニーズを的確に把握し事業を展開していく必要があります。

3. 介護サービス事業の推進

【令和4年度事業推進のねらい】

令和4年度は、コロナ禍において感染予防対策に十分に配慮しながら、介護サービスの利用者の体調維持及び向上を目指し、生きがいを持ちながら、できる限り住み慣れた地域で、在宅生活が継続できるように支援していくことを目標としました。

介護予防として、ますますニーズの多様化が進むことが予測されるなか、利用者本人と家族の介護サービス利用目的を達成できるように、利用者の声に常に耳を傾けながらきめ細かなサービス提供を目指してまいりました。

【主な事業】

- ① 居宅介護支援事業（ケアマネージャー）
- ② 訪問介護事業（ホームヘルパー）
- ③ 訪問入浴介護事業
- ④ 通所介護事業（デイサービス）
- ⑤ 障害者福祉サービス事業

【成果と課題】

(1) 居宅介護支援事業

利用者やその家族が自宅で安心して自立した日常生活が送れるように、関係機関と連携し、総合的かつ効率的な支援を提供するためのケアプランの作成・支援を主な内容としています。また、ご利用者やご家族の様々なニーズに対応出来る様に、多職種との連携を密にしながら業務の運営を図ってきました。ケアマネージャー1人当たりが担当する平均月利用者数は32名であり、他の事業所からの移行や新規受け入れを積極的に行った結果、昨年度と比較して月当たり平均で12名程度増加となりました。

(2) 訪問介護事業及び障害者福祉サービス事業

要介護者等の心身の特性を踏まえて自宅で安心して日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を図ってきました。平均月利用者数は28名、延べ訪問回数は250人でした。昨年度と比較して、生活環境の変化、コロナ禍の影響が大きく、利用者数及び利用回数が大幅に減少となりました。

(3) 訪問入浴介護事業

当町では当事業所1か所のみで行っており、寝たきりの方の入浴手段として在宅における入浴の介護を行っています。また、主治医や訪問看護師と情報共有しながら看取りの方の入浴にも対応しています。2月からは県指導事項であった専任職員1名以上の人員基準も見直され、平均月利用者数は5名で、延べ回数16回のサービス提供を行ってきました。利用者数に変動はありますが、年平均は横ばい状態にあります。件数は多くはないが、町で唯一の事業所であり、今後の事業の継続をするために、訪問入浴車の助成金が決定し、令和5年度中に購入することとなりました。

(4) 通所介護事業

要介護者の心身の特性をふまえて、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の援助及び機能訓練を行い、利用者の心身機能の維持並びに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。平均月利用者数は82名、延べ人数630名、月稼働率は平均72%でした。コロナ禍における利用控えや、体調不良による入院等で長期にわたり休みになられた方が多く大幅な利用者数の減少となりました。また、コロナ感染拡大により、10日間の休所を余儀なくされました。施設（特浴）の設備の購入を行いより安心してサービスの提供を行っております。

介護サービス事業の全体的な傾向として、利用者を取り巻く環境（介護力等）が複雑になっており、専門的な管理や介護が求められてきています。今後、ますますニーズの多様化が予測されるため、人材の確保と育成が急務となっています。

4. 指定管理事業の推進

【 令和4年度事業推進のねらい 】

指定管理施設である高齢者総合福祉センターは健康福祉増進施設として、「町民のやすらぎと憩いの場」の提供を目的として感染症対策に留意しながら管理運営しております。町民から求められる施設の整備や機能の充実を心がけ、町の介護予防施策を踏まえた温泉施設の活用につなげ、サロン活動の会場や「ぼかぼかサロン」等の交流の場とし、またまちの予約制乗合バスと連携して利用者の拡大を図っていきます。さらに利用拡大に向けよりよいサービスが提供できるよう「推進チーム」等で協議・検討して改善に努めます。

陽だまりの家管理事業では、町内に在住する一人暮らしの高齢者や夫婦のみでの生活や健康上の理由などで不安のある方が、長く住み慣れた町で安心・安全をモットーに健康で明るく自立した生活を送ることが出来るように、居室の提供と生活の支援に努めてまいります。

【 主な事業 】

- ① ウェルネスプラザ指定管理事業
- ② 陽だまりの家指定管理事業（高齢者生活福祉センター運営事業）

【 成果と課題 】

ウェルネスプラザでは医療・保健・福祉にかかわる多くの人材を抱えており、この恵まれたマンパワーと充実した施設の活用により、効率的かつ効果のある管理運営を行い、常に利用者ニーズの把握に努めたサービス提供に努めてまいりました。また一人でも多くの町民が生涯現役として活躍できるように「健康づくり」と「やすらぎと憩い」の場として提供できるよう、予約制乗合バスとの連携を図り、待ち時間の大広間利用料を無料にするなど、利用者に満足していただけるサービスに努めてきました。

また、衛生管理面においてもレジオネラ菌や新型コロナウイルスの感染予防対策として、施設の清掃や消毒を徹底して管理に心がけてきました。高齢者総合福祉センターの単独事業の「ぼかぼかサロン」では男性の利用者や新規の利用者増加をねらい「健康体操」に加え「健康麻雀」や「囲碁・将棋」など幅を広げ事業の拡大につながる結果となっております。施設内を季節ごとの飾りつけをするなど利用者を和ませる努力を続けております。

福祉農園販売所の場所の提供では、山菜や野菜等の販売について、新鮮で100円という安価のため、施設の利用者と陽だまりの家の入居者から喜んでいただきました。今後も、これらのサービスは、継続して推進していきます。

陽だまりの家では、入居者が自立した生活ができるよう生活相談・介護支援・交流支援を実施し、入居者が住み慣れた地域と変わらない生活を送ることができるよう季節ごとに行事を開催するなど、生きがいもてる環境づくりを図ってきました。

施設の老朽化が進み施設・設備等に故障がみられるようになりました。その都度に修繕・改修をして利用者に不便のないように心がけ衛生管理・安全管理に努めてまいりました。今後とも利用者が気持ちよく施設を利用できるよう維持修繕だけでなく、利用者には真心で接していく必要があります。

このほか、利用者の安全管理や公用車の交通事故防止等、施設管理面での更なるリスクマネジメントの徹底についてより一層努めていかなければなりません。特に、陽だまりの家の利用者については、入居後に介護認定を受けた場合や認知症を発症した場合の安全管理や他の施設への入所等について常に家族と連絡を取り、町との連携のもとスムーズに介護サービス等に移行できるよう努めております。

第二章 具体的な事業内容

【社協活動事業拠点区分】

1. 法人運営事業

(1) 理事会の開催

- ① 6月2日(木) 最上町健康センター「集団指導室」
(理事10名、監事2名、事務局5名出席)
- ・報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について
 - ・議案第1号 令和3年度 事業報告の承認について
 - ・議案第2号 令和3年度 収支決算報告の承認について
監 査 報 告
 - ・議案第3号 令和4年度 第1次補正収支予算の承認について
 - ・議案第4号 理事候補者の評議員会への提案について
 - ・議案第5号 定時評議員会の招集について
- ② 10月27日(木) 最上町健康センター「集団指導室」
(理事10名、監事2名、事務局5名出席)
- ・報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について
 - ・承認第1号 臨時職員及びパートタイム職員就業規則の一部改正について
 - ・議案第1号 令和4年度 第2次補正収支予算の承認について
- ③ 3月22日(水) 最上町健康センター「集団指導室」
(理事9名、監事1名、事務局4名出席)
- ・報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について
 - ・議案第1号 令和4年度 第3次補正収支予算の承認について
 - ・議案第2号 令和5年度 事業計画の承認について
 - ・議案第3号 令和5年度 収支予算の承認について
 - ・議案第4号 最上町社会福祉協議会 経理規程の一部改正について
 - ・議案第5号 職員給与規程の一部改正について
 - ・議案第6号 職員給与規程の施行に関する要綱の一部改正について
 - ・議案第7号 理事候補者の評議員会への提案について
 - ・議案第8号 令和4年度 第2回評議員会の招集について
 - ・議案第9号 役員等賠償責任保険への加入について

(2) 評議員会の開催

- ① 定時評議員会 6月22日(水) 最上町健康センター「集団指導室」
(評議員14名、高橋会長、伊藤常務理事、菅監事、事務局5名出席)
- ・報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について
 - ・議案第1号 令和3年度 事業報告の承認について
 - ・議案第2号 令和3年度 収支決算報告の承認について
監査報告
 - ・議案第3号 令和4年度 第1次補正収支予算の承認について
 - ・議案第4号 理事の選任について
- ② 3月29日(水) 最上町健康センター「集団指導室」
(評議員11名、高橋会長、伊藤常務理事、事務局5名出席)
- ・報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について
 - ・議案第1号 令和4年度 第3次補正収支予算の承認について
 - ・議案第2号 令和5年度 事業計画の承認について
 - ・議案第3号 令和5年度 収支予算の承認について
 - ・議案第4号 理事の選任について

(3) 監事会の開催

- 5月23日(月) 最上町高齢者総合福祉センター「ボランティア室」
(監事2名、事務局2名出席)
- ・理事の職務執行状況について
 - ・業務及び財産の状況について
 - ・令和3年度 事業報告のについて
 - ・令和3年度 計算書類及び財産目録について

(4) 三役会の開催

- ① 5月25日(火) 最上町役場「町長室」
(高橋会長、山田副会長、笹副会長、伊藤常務理事、事務局2名出席)
- ・協議第1号 理事会及び評議員会の提出議案について
- ② 10月27日(木) 最上町高齢者総合福祉センター「ボランティア室」
(高橋会長、山田副会長、笹副会長、伊藤常務理事、事務局2名出席)
- ・協議第1号 理事会提出議案について
- ③ 3月22日(水) 最上町高齢者総合福祉センター「ボランティア室」
(高橋会長、山田副会長、笹副会長、伊藤常務理事、事務局2名出席)
- ・協議第1号 理事会及び評議員会の提出議案について

(5) 市町村社協会長等会議

令和4年11月1日(火) 13:30~15:30

場所：最上広域交流センター ゆめりあ

内容：① 県社協会長講話

② 報告・提案(特例貸付の現状と課題、県民福祉大会開催地について)

③ 協議(市町村社協から提出議題について)

(6) 社会福祉協議会会費実績

① 一般会費 (2,458世帯)	3,687,000円
② 賛助会費 (24法人)	190,000円
※ 実績額	3,877,000円

(7) 社会福祉協議会長表彰

i. 最上町社会福祉協議会長表彰

最上町会福祉協議会・最上町老人クラブ連合会合同定例表彰式
: 11月14日(月) 表彰伝達
定例表彰選考委員会 : 10月27日(木) 福祉センター「常務室」

○ 社会福祉関係功勞表彰

1. 民生児童委員

豊寿会職員

- ① 大場美智子(前森3)
- ② 大沼 広子(向町7)

○ 社会福祉協議会善行表彰

- ① 医療法人 永井医院 理事長 永井俊一(向町7)
- ② 秋桜会(向町地区)

(8) 遺族会援護事業

- ① 総会 4月 文書による決議
- ② 山形県戦没者追悼式 10月19日(木) 南陽市

(9) 生活福祉資金貸付事業

令和4年度 新規貸付件数	4件
緊急小口資金コロナ特例	1件
総合支援資金コロナ特例	3件

(10) 福祉サービス利用援助事業

令和4年度 内容
利用契約の締結件数 相談672件、新規6件、解約1件、契約継続件数14件

(11) 総合相談事業

i. 総合相談所

6月 3日(金) 中央公民館
9月 2日(金) 武田弁護士 中央公民館
12月 2日(金) 武田弁護士 中央公民館 計3回

ii. 定例相談所 (最上町高齢者総合福祉センター)

7月4日(月)、8月1日(月)、10月3日(月)、11月7日(月)
1月16日(月) 計5回

※ 相談件数 延べ 15件

(12) 赤十字運動の推進

① 日本赤十字社活動

i. 日赤社資（会費）活動

◎ 目標額	1,570,000円
※ 実績額	1,719,900円（2,457世帯）
事業費	120,393円（実績額の7%）
活動費	171,990円（実績額の10%）

ii. 災害見舞金等

6月	結城 嘉治（一刎）	住宅火災
	見舞い品	毛布 3枚 救急セット 1個
	見舞金	20,000円
10月	佐々木孝一（向町3）	住宅火災
	見舞い品	毛布 9枚 救急セット 1個
	見舞金	20,000円

(13) 災害募金運動

火災たすけあい募金	○結城 嘉治（一刎）	住宅火災
	実績額	717,600円（2,331世帯）
	○佐々木孝一（向町3）	住宅火災
	実績額	723,300円（2,358世帯）

山形県大雨災害義援金 実績額 13,776円（募金箱）

(14) 地域福祉推進事業

① 福祉共育推進事業

i. 町内小学校へ福祉教育の実践

・向町小学校4年生

7月29日（金）	先生と打ち合わせ
9月14日（水）	テーマ 「オリエンテーション・福祉とは」
9月27日（火）	テーマ 「高齢者疑似体験・福祉車両体験」（対象：1組）
9月29日（木）	テーマ 「高齢者疑似体験・福祉車両体験」（対象：2組）
10月19日（水）	テーマ 「認知症サポーター養成講座」（対象：1、2組）
11月10日（木）	テーマ 「障害スポーツを体験しよう」（対象：1組）
11月10日（木）	テーマ 「障害スポーツを体験しよう」（対象：2組）
12月7日（水）	テーマ 「民生児童委員と交流しよう」（対象：1、2組）
12月14日（水）	テーマ 「ふりかえり・これからの自分」（対象：1、2組）

・大堀小学校4年生

6月8日（水）	先生と打ち合わせ
6月16日（木）	テーマ 「オリエンテーション・福祉って何？」
7月5日（火）	テーマ 「町の歴史と文化と世代間交流」
7月12日（火）	テーマ 「自分の住んでいる大堀地区ってどんなところ？」
7月19日（火）	テーマ 「学校と地域・集落がつながるってどうゆうこと」
9月2日（金）	テーマ 「敬老のお祝いをしよう」
9月21日（水）	テーマ 「言葉のチカラについて」
9月28日（水）	テーマ 「言葉のチカラについて2」

- 10月 5日 (水) テーマ 「高齢者疑似体験・福祉車両体験」
 12月 8日 (木) テーマ 「最上町にこんな名人がいた。名人講座」
 12月中 テーマ 「書き損じはがきを集めよう」
 2月 9日 (木) テーマ 「こんな高学年になりたい」
 2月14日 (火) テーマ 「ふりかえり」
 3月16日 (木) テーマ 「ふくしキッズ認定式」

② ボランティア活動推進事業

i. ボランティア通信の発行

発刊号	発刊日	内 容
第31号	11月 1日	・スノーバスター事業紹介 ・ボランティア活動保険について ・間口除雪サービス事業紹介
第32号	2月22日	・除雪ボランティア活動紹介 ・ボランティア募集 ・ボランティア活動保険について
第33号	3月31日	・老人クラブボランティア活動紹介 ・ぼかぼかサロンの紹介 ・ボランティア活動保険について

ii. ボランティアの創出

- 新庄北高等学校最上校 地域福祉部 「イエロー・ダンパーズ」 活動支援
 1月19日 (木) 地域福祉部と打ち合わせ
 1月24日 (火) 降雪なく中止
 1月26日 (木) 猛吹雪のため中止
 新庄北高等学校最上校 ボランティア推進委員会 除雪ボランティア支援
 2月 3日 (金) 除雪対象世帯 1件 参加生徒21名
 除雪ボランティアを募り除雪支え合い活動を支援
 1月28日 (土) 除雪対象世帯 1件 参加者21名

③ 居場所づくりコーディネーター事業

i. 健康福祉推進員連絡会事業

- ・最上町健康福祉推進員連絡会総会 (書面開催)
 内容：令和3年度事業報告
 令和4年度事業計画
 サロンの活動保険料の活用について
 その他
- ・役員会
 6月 7日 (火) 福祉センター「大広間」
 2月24日 (金) 福祉センター「大広間」
- ・研修会
 3月15日 (水) 中央公民館「大ホール」
 参加者43名
 令和5年度活動計画について
 サロン活動保険について
 サロンのメニュー紹介
 とんと昔この会「昔話かたり」
 森の楽器の会ベルフォレ「演奏」

③ 災害時要配慮者支援活動事業

i. 安心カードの点検・更新

- ・民生児童委員定例会 12月点検
- ・民生児童委員定例会 1月更新

ii. 安心カードの整備

登録件数 278件（内、4年度新規39件）

iii. 個別支援計画の整備

登録件数 278件（内、4年度新規39件）

iv. 関係機関との検討会議

区長・民生児童委員・健康福祉推進員ネットワーク会議

- ・5月19日（木）各団体事務局調整・連絡
- ・6月15日（水）区長・民生委員・健康福祉推進員合同三役会議
- ・7月12日（火）各団体事務局調整会議
- ・10月17日（月）13：30～ 大堀地区 会場：中央公民館
参加者：27名
- ・10月18日（火）10：00～ 向町地区 会場：中央公民館
参加者：27名
- ・10月18日（火）13：30～ 富沢地区 会場：富沢地区改善センター
参加者：14名
- ・10月19日（水）10：00～ 赤倉・一刎地区 会場：旧赤倉小学校
参加者：7名

⑤ 雪国の生活にやさしいまちづくり支援事業

i. 間口除雪ボランティアサービス事業の実施

NO.	集 落	件 数	NO.	集 落	件 数
1	赤倉1	1	15	前森3	1
2	赤倉2	1	16	前森1	1
3	赤倉3	2	17	満沢2	1
4	万騎の原	1	18	満沢1	1
5	新田1	2	19	萱 場	2
6	下小路	2	20	月 楯	1
7	立小路	2	21	豊 田	1
8	本 城	2	22	東法田	1
9	十日町	1	23	若 宮	1
10	向町1	2	24	法田下	1
11	向町4	7	25	清水町	1
12	向町5	1	26	白川端	1
13	向町6	3	27	瀬見1	1
14	黒 沢	2	計		43

⑥ 健康寿命延伸応援プロジェクト事業

ウエルネスプラザの医療関係者監修による地域における健康づくりの推進をサポートするリーダーの養成研修を実施しました。受講生の対象は、全町民です。研修を修了した受講者には初心者向けの「ブロンズ・リーダー」とスキルアップ向けの「シルバー・リーダー」ウエルネスプラザオリジナルライセンスを取得できるような仕組みづくりを行って来ました。

実績

【ブロンズ】

第4期 7月4日(月)、7月11日(月)、7月25日(月)、8月1日(月)、
8月8日(月) 受講生 11名

第5期 10月3日(月)、10月17日(月)、10月24日(月)、
10月31日(月) 受講生 12名
計 23名

【シルバー】

第1期 11月9日(水)、11月16日(水)、11月30日(水)、12月7日(水)、
12月21日(水)、12月28日(水)、1月4日(水) 受講生 11名
計 11名

ふりかえり研修会

① 第1期・第2期生ふりかえり研修会

日時：3月6日(月) 10時～11時30分
内容：百歳体操の練習、受講生同士の交流
場所：高齢者総合福祉センター「大広間」

② 第3期・第4期・第5期ふりかえり研修会

日時：3月31日(月) 10時～11時30分
内容：百歳体操の練習、受講生同士の交流
場所：高齢者総合福祉センター「大広間」

小学校区別受講人数

NO.	集 落	ブロンズ	シルバー
1	旧富沢小学校区	2	2
2	旧赤倉小学校区	1	
2	向町小学校区	11	5
3	旧満沢小学校区		1
4	旧月楯小学校区	1	
5	旧東法田小学校区		
6	大堀小学校区	5	3
7	旧瀬見小学校区	3	
計		23	11

年齢構成別受講人数

NO.	年齢層	ブロンズ	シルバー
1	～59才		6
2	60才から64才	1	2
3	65才から69才	9	2
4	70才から74才	7	1
5	75才以上	6	
計		23	11

(15) 生活支援コーディネーター配置事業

i. 情報交換定例会

隔週月曜日開催（12回）

参加者 地域包括支援センター・集落支援員・町総務企画課まちづくり推進室・社協地域福祉係・生活支援コーディネーター

ii. 最上町生活支援体制整備事業協議体への参画

10月27日（木）健康センター「集団指導室」

3月28日（火）健康センター「集団指導室」

iii. 外出支援の創出

（ぽかぽかサロン）

4月21日（木）健康体操・健康麻雀・将棋・輪投げ	参加者	20名
6月21日（火）健康体操・健康麻雀・将棋・輪投げ	参加者	30名
7月21日（木）健康体操・健康麻雀・将棋・輪投げ	参加者	14名
9月21日（水）健康体操・健康麻雀・将棋・輪投げ	参加者	8名
11月21日（月）健康体操・健康麻雀・将棋・輪投げ	参加者	6名
12月21日（水）健康体操・健康麻雀・将棋・輪投げ	参加者	15名
2月21日（火）健康体操・健康麻雀・将棋・輪投げ	参加者	16名

（旧富沢小学校活用サロン）

6月22日（木）旧富沢小学校でボッチャ（旧富沢小学校）
7月27日（水）旧富沢小学校でボッチャ（旧富沢小学校）
8月24日（水）旧富沢小学校でボッチャ（旧富沢小学校）
9月28日（水）旧富沢小学校でボッチャ（旧富沢小学校）
10月22日（水）旧富沢小学校でボッチャ（旧富沢小学校）

iv. 家事支援有償ボランティア立ち上げ支援

11月 ゆりの会「ねこの手ボランティア」

v. 除雪ボランティア関係

新庄北高等学校最上校 地域福祉部「イエロー・ダンパーズ」支援

vi. 研修会等

6月 6日（月）旧富沢小学校活用検討会議（旧富沢小学校）
7月 5日（火）町の文化歴史と世代間交流（堺田封人の家）
7月12日（火）フードドライブ研修会（新庄市）
7月20日（水）生活支援コーディネータースキルアップ研修会（山形市）
10月17日（月）西地区ネットワークづくり検討会議（中央公民館）
10月18日（火）向町地区ネットワークづくり検討会議（中央公民館）
10月18日（火）富沢地区ネットワークづくり検討会議（富沢地区公民館）
10月19日（水）赤倉地区ネットワークづくり検討会議（旧赤倉小学校）
12月12日（月）地域づくり人材育成研修会（最上総合支庁）
2月10日（金）防災のためのコミュニティラジオ研修会（新庄コミュニティ放送株式会社）
3月 9日（木）身近な地域での福祉活動を進めるための担い手講座（山形市）

(16) 障害者社会参加促進事業（居場所づくり事業）

身体障害者居場所づくり事業

- ・軽スポーツ 延べ人数 57名参加
- ・製作教室 延べ人数 52名参加

(17) 介護職員初任者研修課程事業

- 開講式 5月24日（火）新庄北高等学校最上校「会議室」
- 修了式 9月30日（金）新庄北高等学校最上校「会議室」
- 6名合格（最上校生3名 内 男性3名、女性0名）
（一般 3名 内 男性0名、女性3名）

(18) 町受託事業

① 敬老会事業

- 9月16日（金）中央公民館「大ホール」参加者30名
喜寿84名、米寿98名、白寿19名、百賀8名、百一賀 4名
百二賀 3名、百三賀 2名、百四賀 1名
金婚さん22組

② 最上町戦没者追悼式事業

- 6月17日（金）中央公民館「大ホール」 45名参列

(19) 各団体への支援事業

- ・向町婦人会、すみれ会、高校生ボランティアつくし会、
新庄北高最上校ボランティア推進委員会、JA新庄もがみ女性最上支部

(20) 最上町老人クラブ連合会

- ・最上町老人クラブ連合会総会 書面決議
- ・町老人クラブ・社会福祉協議会合同表彰式
11月14日（月）最上町中央公民館「大ホール」 60名参加
- ・第8回最上町老人クラブワナゲ大会
7月15日（金）最上町中央公民館「大ホール」 90名参加
- ・最上町老人クラブ連合会会長等研修会
10月21日（金）鶴岡市方面 27名参加
3月3日（金）最上町高齢者総合福祉センター 33名参加
- ・最上町老人クラブ連合会交通安全推進員研修会
11月30日（水）最上町中央公民館「大ホール」 27名参加

(21) 身体障害者福祉会

- ・最上広域身体障害者福祉協会連合会総会及び連絡会議
6月8日（水）真室川町健康管理センター 2名参加

(22) 手をつなぐ育成会事業

- ・交流会 3月16日（木）最上町高齢者総合福祉センター
- ・新庄・最上地区手をつなぐ育成会
コロナ禍によりすべての事業を中止となる（レク教室・交流会）

2. 健康クラブ事業

(1) クラブ実利用者数 15,028名

(2) 委託事業 (延人数)

① 国保健康指導事業	8,140名
② 国保元気高齢者健康づくり事業	1,939名
③ メタボリック対策事業	579名
④ 転倒予防教室	107名
⑤ 元気はつらつクラブ	0名
⑥ 足腰若返りクラブ	148名
⑦ 体力づくりサポート事業	1,413名
⑧ 体力づくり推進事業	1,555名
⑨ ウエルネス健康教室	1,209名

3. 共同募金配分金事業

(1) 共同募金会運動の推進

① 赤い羽根共同募金運動実績

【目標額】	1,579,000円
・戸別募金(2,457世帯)	1,474,200円
・法人募金(24法人)	173,000円
・その他募金	3,382円
※実績額	1,650,582円(※達成率104.5%)

② 赤い羽根共同募金配分金(令和3年度実績額からの配分額)

【配分金】	1,101,522円
・高齢者福祉費	200,000円
・障害福祉費	50,000円
・児童・青少年福祉費	50,000円
・ボランティア要請支援事業費	501,522円
・広報活動費	300,000円
※支出計	1,101,522円

(2) 歳末たすけあい運動の推進

① 歳末たすけあい運動実績

【目標額】	1,600,000円
・戸別募金(2,454世帯)	1,472,400円
・篤志募金(2個人5団体)	109,500円
※実績額	1,581,900円

② 歳末たすけあい運動配分金

【配分】	
・地域配分(130世帯)	1,538,000円
・事務費	43,900円
※配分計	1,581,900円

4. ふれあい金庫事業

(1) ふれあい金庫の貸付事業

令和4年度新規貸付件数	3件
3月31日現在貸付件数	1件

【介護事業拠点区分】

1. 居宅介護支援事業

(1) 介護サービス事業

① 居宅介護支援事業

【令和4年度利用状況】

月	4	5	6	7	8	9	延件数
件数	87	88	90	99	92	90	
月	10	11	12	1	2	3	
件数	97	96	81	98	86	99	

・介護度別利用延件数

i 要介護1	男性 152件	女性 240件	計 392件
ii 要介護2	男性 103件	女性 261件	計 364件
iii 要介護3	男性 84件	女性 140件	計 224件
iv 要介護4	男性 18件	女性 64件	計 82件
v 要介護5	男性 2件	女性 39件	計 41件
計	男性 359件	女性 744件	計 1,103件

(2) 介護予防サービス事業

① 介護予防支援事業（町からの受託）

【令和4年度利用状況】

月	4	5	6	7	8	9	延件数
件数	17	18	16	15	15	17	
月	10	11	12	1	2	3	
件数	13	16	14	26	20	20	

・要支援別利用延件数

事業対象者	男性 0件	女性 12件	計 12件
i 要支援1	男性 0件	女性 65件	計 65件
ii 要支援2	男性 27件	女性 103件	計 130件
計	男性 27件	女性 180件	計 207件

(3) 介護保険外のサービス事業

① 介護認定調査事業

【令和4年度利用状況】

月	4	5	6	7	8	9	延件数
件数	8	5	8	10	8	9	
月	10	11	12	1	2	3	
件数	9	4	8	11	9	9	

・利用延件数 男性 29件 女性 69件 計 98件

2. 訪問介護事業

(1) 介護サービス事業

① 訪問介護事業

【令和4年度利用状況】

月	4	5	6	7	8	9	延件数
件数	23	23	22	22	20	21	250件
回数	226	252	229	247	247	221	
月	10	11	12	1	2	3	延回数
件数	23	25	21	17	17	16	2,864回
回数	271	276	267	212	188	228	

・介護度別利用延件数

i 要介護1	男性	60件	女性	67件	計	127件
ii 要介護2	男性	1件	女性	49件	計	50件
iii 要介護3	男性	3件	女性	17件	計	20件
iv 要介護4	男性	5件	女性	29件	計	34件
v 要介護5	男性	0件	女性	19件	計	19件
計	男性	69件	女性	181件	計	250件

・利用延回数 2864回

(2) 介護予防サービス事業

① 介護予防訪問介護事業

【令和4年度利用状況】

※うち(A型)の件数

月	4	5	6	7	8	9	延件数
件数	9(1)	9(1)	8(0)	8(0)	8(0)	9(0)	96件 (2)
回数	42(4)	50(4)	39(0)	41(0)	39(0)	39(0)	
月	10	11	12	1	2	3	延回数
件数	9(0)	8(0)	7(0)	7(0)	7(0)	7(0)	499回 (8)
回数	44(0)	46(0)	38(0)	38(0)	35(0)	48(0)	

・要支援別利用件数

i 要支援1	男性	2件	女性	17件	計	19件
ii 要支援2	男性	7件	女性	70件	計	77件
計	男性	9件	女性	87件	計	96件

・利用延回数 499回

② 事業対象者

利用なし

(3) 介護保険外のサービス事業

① 軽度生活支援事業

【令和4年度利用状況】

男性 3名 44回 女性 3名 12回
合計 7名 56回利用

3. 通所介護事業

(1) 介護サービス事業

① 通所介護事業

【令和4年度利用状況】

月	4	5	6	7	8	9	延件数
件数	78	81	79	77	74	69	874件
回数	618	707	635	641	502	619	
月	10	11	12	1	2	3	延回数
件数	68	69	69	70	67	73	6,954回
回数	477	525	612	519	531	568	

・介護度別利用延件数

i 要介護1	男性 101件	女性 180件	計 281件
ii 要介護2	男性 75件	女性 244件	計 319件
iii 要介護3	男性 69件	女性 125件	計 194件
iv 要介護4	男性 22件	女性 45件	計 67件
v 要介護5	男性 1件	女性 12件	計 13件
計	男性 268件	女性 606件	計 874件

・利用延回数 6,954回

(2) 介護予防サービス事業

① 介護予防通所介護事業 (短時間デイサービス)

【令和4年度利用状況】

※ () 内は短時間デイの件数

月	4	5	6	7	8	9	延件数
件数	7 (0)	7 (0)	5 (0)	5 (0)	8 (0)	8 (0)	94件
回数	42	37	36	21	13	27	
月	10	11	12	1	2	3	延回数
件数	7 (0)	6 (0)	10 (0)	10 (0)	10 (0)	12 (0)	411回
回数	22	31	38	32	47	65	

・要支援別利用件数

i 事業対象者	男性 0件	女性 0件	計 0件
ii 要支援1	男性 0件	女性 9件	計 9件
iii 要支援2	男性 3件	女性 82件	計 85件
計	男性 3件	女性 91件	計 94件

・利用延回数 411回

(3) 介護保険外のサービス事業

① いきいきデイサービス事業

【令和4年度利用状況】

月	4	5	6	7	8	9	延件数
件数	0	0	0	0	0	0	0件
回数	0	0	0	0	0	0	
月	10	11	12	1	2	3	延回数
件数	0	0	0	0	0	0	0回
回数	0	0	0	0	0	0	

・利用延件数 (男性 0件 女性 0件 計 0件)

・利用延回数 0回

4. 訪問入浴介護事業

(1) 介護サービス事業

① 訪問入浴介護事業

【令和4年度利用状況】

月	4	5	6	7	8	9	延件数
件数	4	4	5	5	5	6	61件
回数	15	13	12	16	17	17	
月	10	11	12	1	2	3	延回数
件数	6	6	4	5	5	6	200回
回数	20	21	13	16	16	24	

・介護度別利用延件数

i 要介護1	男性	0件	女性	0件	計	0件
ii 要介護2	男性	6件	女性	12件	計	18件
iii 要介護3	男性	3件	女性	0件	計	3件
iv 要介護4	男性	12件	女性	6件	計	18件
v 要介護5	男性	1件	女性	21件	計	22件
計	男性	22件	女性	39件	計	61件

・利用延回数 201回

5. 障がい者総合支援事業

(1) 身体・知的・精神障害者訪問介護

① 居宅介護

【令和4年度利用状況】

月	4	5	6	7	8	9	延件数
件数	3	3	3	3	3	3	35件
回数	14	15	14	14	17	16	
月	10	11	12	1	2	3	延回数
件数	3	2	3	3	3	3	191回
回数	15	16	19	17	16	18	

・利用延件数 男性 24件 女性 11件 計 35件

・利用延回数 191回

6. 町内介護サービス事業所との情報交換会等

(1) 新型コロナウイルス感染症対策についての情報交換会

- ① 内 容：コロナ陽性者・濃厚接触者への対応について
最上町の抗原検査キットの助成について
- ② 開催日時：令和4年9月8日（木）
- ③ 開催場所：最上町高齢者総合福祉センター「大広間」
- ④ 参集団体：7団体

【指定管理事業拠点区分】

1. ウエルネスプラザ指定管理事業

(1) 高齢者総合福祉センター運営事業

新型コロナウイルス感染予防に努めて通常営業

② 入浴等 施設利用者数 29,243名

③ イベント

・正月みかん配布 1月 1日 (日)

・バレンタインデー (チョコレート無料配布) 2月14日 (火)

(2) 修繕工事等

・大浴場 貯湯タンク清掃 (10/3~6日) 大浴場休館

(3) 指定管理者電気料金高騰対策支援金

1,865,000円

2. 陽だまりの家指定管理事業

(1) 陽だまりの家 (高齢者生活福祉センター運営事業)

① 3月31日現在入所者数 10名 (女性10名)

② 令和4年度中 新規入所者3名、退所者数2名
行事 (笹巻づくり、餅つき)

(2) 指定管理者電気料金高騰対策支援金

398,000円